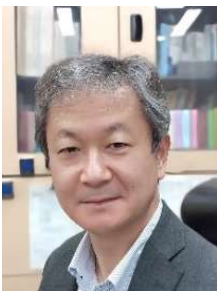


電波政策の最新動向 13:35～14:25

本講演では、我が国における5Gの普及・展開の状況、衛星コンステレーションやHAPS等の非地上系ネットワーク（NTN）の導入のための検討状況、無線LANの高度化に関する議論状況、ITSの動向など、無線通信に関連する最新の技術動向や政策動向についてご紹介します。



総務省 総合通信基盤局電波部長 荻原 直彦 様

1992年 郵政省入省。衛星・地域放送課技術企画官、電波利用料企画室長、研究推進室長、電気通信技術システム課長、移動通信課長、放送技術課長、電波政策課長を経て2023年7月から現職。

NTNの実現に向けたKDDIの取組み 14:25～15:10

NTNの概要、Starlink（固定型、D2C）や月面モバイル通信におけるKDDIの取組み、NTNと国際標準化の関係及びこれに対するKDDIの貢献、についてご紹介します。



KDDI株式会社 先端技術統括本部 顧問 河合 宣行 様

入社以来、航空衛星通信システム、VSATシステムの開発・商用化、インマルサット本部（ロンドン）に出向し可搬型移動体衛星システムの開発に携わるなど、一貫して、衛星通信のシステム開発、運用保守に従事。Starlinkの日本でのサービス開始に関する技術・制度事項にも関わる。グローバル技術・運用本部副本部長、技術戦略本部副本部長を経て、現在、KDDI（株）先端技術統括本部顧問。また、衛星通信関連のITU-Rの標準化について、20年以上にわたり日本代表として活動。2016年よりITU-R WP 4C（移動体衛星研究作業班）議長。2019年世界無線通信会議（WRC-19）第5委員会（COM5）議長。2024年より、APG-27（アジア太平洋電気通信共同体WRC-27準備会合）議長。

NTNに関するワイヤレス研究開発の現状と動向 15:25～16:10

非地上系ネットワーク（NTN）の研究開発について、海・地上・空・宇宙をシームレスにつなぐ3次元ネットワークに向けた技術課題としてネットワーク、電波、光を中心に研究開発の現状と動向をご紹介します。



国立研究開発法人情報通信研究機構 ワイヤレスネットワーク研究センター 宇宙通信システム研究室 室長 三浦 周 様

1998年東北大学大学院博士課程修了。同年郵政省通信総合研究所（現情報通信研究機構）に入所以来、ミリ波高速無線LAN用アンテナシステム、地上／衛星共用携帯電話システム、技術試験衛星9号機の通信ミッションなどの研究開発に従事。2025年より現職。スペースICT推進フォーラム5G/Beyond 5G連携技術分科会副主査を務める。

次世代サイバーインフラの研究開発 16:10～17:00

本講演では、未来社会におけるサイバーと物理の融合を支える次世代サイバーインフラの研究開発の動向や、Beyond5G、特にNTN、AI-RAN、などを含む、我々の最新の研究開発の実例を紹介します。また、未来社会に向けてグローバルで必要とされる価値を創造する研究開発推進と卓越した人材の育成の重要性を議論します。



東京大学大学院 工学系研究科 教授 中尾 彰宏 様

東京大学理学部卒。同大学大学院工学系研究科修士課程修了。米IBMテキサスオースチン研究所、日本IBM東京基礎研究所などを経て、米プリンストン大学大学院コンピュータサイエンス学科にて修士・博士学位取得。東京大学工学系研究科教授（現職）。東京大学総長特任補佐（現職）、東京大学次世代サイバーインフラ連携研究機構 機構長（現職）XGMF共同代表（現職）、電子情報通信学会通信ソサイエティ会長（現職）を兼任。専門は情報通信。Beyond5G/6G、NTN、ローカル5G、AI-RANに関する複数の産学連携プロジェクトのリーダーを務める。